

Press Release

2022年7月15日

テクノロジーとビジネスを、つなぐ



オーダーメイド AI ソリューション、
『カスタム AI』開発

株式会社 Laboro.AI

カスタム AI 搭載 カメラソリューション 『L-Vision』の提供開始について

株式会社 Laboro.AI は、当社事業であるオーダーメイド AI 開発『カスタム AI』のソリューションとして、カスタム AI 搭載カメラソリューション『L-Vision（エルビジョン）』の提供を開始いたします。

<今回のポイント>

- ✓ カスタム AI ソリューションの一つとして、AI カメラデバイス L-Vision を開発・提供
- ✓ ビジネス課題に最適なソリューションとして、個社ごとにオーダーメイド開発
- ✓ 小売、製造、建設など、フィジカル（物理的）なビジネス現場での活用展開を想定

株式会社 Laboro.AI

代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 CTO 藤原弘将

オーダーメイドによる AI・人工知能ソリューション『カスタム AI』の開発・提供およびコンサルティング事業を展開する株式会社 Laboro.AI（ラボロエーアイ、東京都中央区、代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 CTO 藤原弘将。以下、当社）は、国内法人企業を対象とした当社事業であるカスタム AI のソリューションの一つとして、カスタム AI 搭載カメラソリューション『L-Vision（エルビジョン）』の提供を開始いたします。

L-Vision は、ビジネス現場の課題・環境に合わせてオーダーメイド開発されるカスタム AI をカメラデバイスに搭載したソリューションです。そのため、AI カメラデバイスを単体販売するものではなく、カスタム AI の開発・導入内容に応じて L-Vision に搭載するソフトウェアを個別開発し、クライアントごとに最適な AI カメラソリューションとして提供いたします。L-Vision は、とくに小売業、製造業、建設業をはじめとしたフィジカル（物理的）なビジネス現場に設置されることを想定しており、そこで収集・解析される様々な視覚データから特定の対象物を認識・検出することはもちろん、各種予測シミュレーション、最適なビジネスアクション策定など、ビジネスにおけるより奥行きのある AI 活用展開を描けることが最大の特徴です。

当社では今後もオーダーメイドによる AI 開発、カスタム AI をより多くの産業の企業様に導入いただくことを目指すとともに、イノベーション創出のパートナーとして引き続き精進してまいります。

本件についての詳細は、次頁以降にてご確認ください。

カスタムAI搭載カメラで、 ビジネスに未来のビジョンを。



「L-Vision」は、
現場の課題や環境に合わせてオーダーメイド開発される
「カスタムAI」を搭載したビジネスソリューション。

AIカメラが人・物・空間を認識することを超え、
ビジネス課題を成果へとつなぐ、
最適なソリューションを提供します。



※画像はイメージです。

< L-Vision の概要 >

< L-Vision 提供開始の背景 >

2010年代に劇的な進化を遂げたディープラーニング技術は、とくに画像分野で目覚ましい研究成果が生まれ出されるとともに、その成果は産業分野にも転用され、画像系AIの様々なビジネス活用例が誕生しているところです。AI技術の最新動向についてまとめた『AI白書2022』によれば、国内約40%の企業がAIを導入もしくは導入検討を進めており、AIの産業応用が益々隆盛を迎えています。

オーダーメイドによるAI開発、カスタムAIの提供を事業とする当社でも画像データを用いた様々なAI開発・導入実績が蓄積しており、また社内R&D活動においてもその知見向上に努めてきました。今般提供を開始するL-Visionは、カスタムAIの開発・導入を通して培われてきたこうした当社ノウハウをさらに多くの産業・企業に横展開し、より多くの産業イノベーション創出に貢献することを目的としており、カメラというデバイスの形をもってその技術力を具象化することで、お客様にとってわかりやすい入り口として認知いただくことを意図したものです。

< L-Vision の特徴 >

L-Vision は、当社事業であるオーダーメイドによる AI 開発、カスタム AI のソリューションラインナップの一つとして位置付けられるもので、クライアント個社ごとに開発されるカスタム AI をカメラデバイスに搭載したビジネスソリューションです。そのため、カメラデバイスを単体で販売するものではなく、カスタム AI の開発・導入内容に応じて L-Vision に搭載するソフトウェアを個別開発し、クライアントごとに最適な AI カメラソリューションとして提供いたします。

通常、AI カメラデバイスは小売業、製造業、建設業をはじめとしたフィジカルなビジネス現場に設置され、そこで収集・解析される様々な視覚的データから特定の対象物を捕捉する「認識」をその主な機能とします。ですが、これら汎用化された AI カメラデバイスは基本的には売り切りであることから、認識機能以上の力を発揮することは基本的にはなく、その導入成果も不確実性が高いものであるのが実際です。

一方、L-Vision はカスタム AI のソリューションとして提供することから、コンサルティングをベースとした AI 活用ビジョンの策定、要件定義、ロードマップ策定、精度・評価設計、ビジネス現場導入後の業務・運用フローの検討などを含めた事前設計を入念に実施した上で開発を進めるため、ビジネス課題にジャストフィットする AI カメラソリューションとしての設計が可能です。また、カメラの認識機能に留まることなく、その認識結果に基づいた各種予測シミュレーション、そして最適なビジネスアクション策定にまで踏み込んだ AI 活用展開を描けることが、カスタム AI ソリューションとしての L-Vision の最大の特徴です。

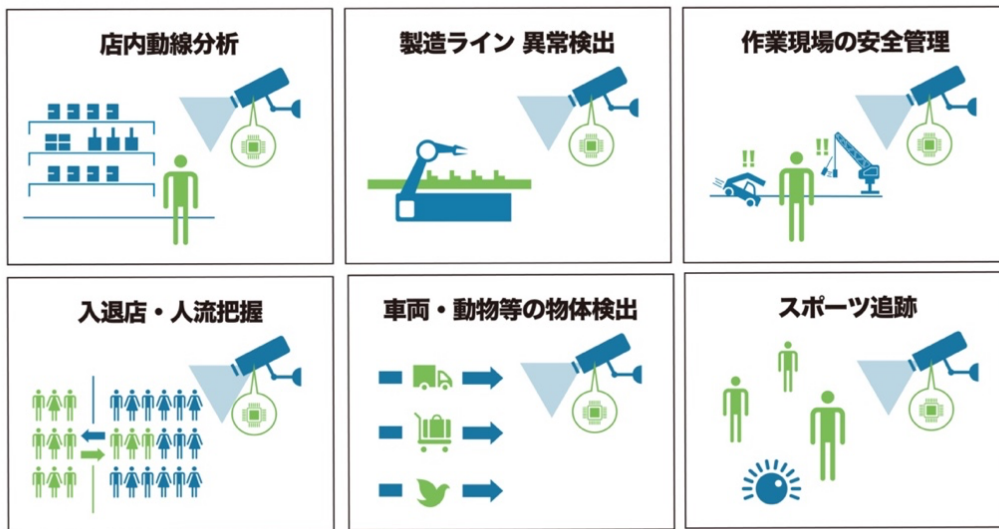


< L-Vision の想定される活用例 >

L-Vision は、主にフィジカルなビジネスフィールドに設置・導入されることを見込んでおり、様々な業種・業界で多様な活用展開が想定できます。

L-Vision の業界別活用展開

小売・流通業	製造業	建設業	その他
店内動線の分析 顧客行動の分析 陳列・在庫の管理 入退店客のカウント など	チョコ停の検知 製造品の検品 製造ラインの異常検出 工場内の安全管理 など	作業現場の安全管理 建機・作業者の監視 危険区域への侵入検知 など	車両・動物等の物体検出 スポーツ選手やボール追跡 侵入・不審者の検知 街頭の人流把握 など

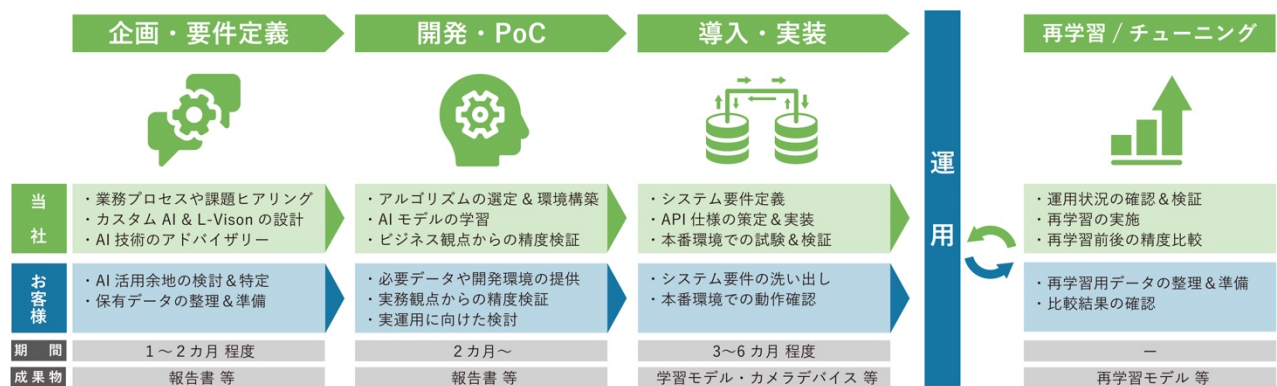


< L-Vision 開発・提供の流れとポイント >

L-Vision は、検出条件や検出環境などに応じて、どのような AI 技術を使うべきかの検討を踏まえた上、搭載するソフトウェアを個社ごとに設計・開発いたします。

< L-Vision 開発・提供フロー >

L-Vision の開発・提供の流れは当社カスタム AI 開発のフローと同一であり、以下の通りです。なお、オーダーメイドという特性上、実際の開発フローはケースごとに異なります。



※図は一例として標準的な工程を掲載しています。オーダーメイドという特性上、実際の開発フローはお客様ごとに異なります。

< L-Vision 開発・提供のポイント >

開発・提供に当たってのポイントは以下の通りです。

・導入時のフルサポート

AI/機械学習技術は導入の初期段階からに専門的知見が必要になり、導入ハードルが高い技術の一つです。L-Vision の提供に当たっては、当社独自人材であるソリューションデザイナーによるコンサルティングを実施することを通して、ビジネス活用にあたっての議論やデータ選定の段階からフルサポートします。

・先端アルゴリズムの活用

アカデミア（学术界）の先端研究をキャッチアップした上で、求める成果に即した最適なアルゴリズムや手法を活用し、ビジネス成果につながる AI カメラソリューションとして提供します。

・柔軟な教師データの活用

求めるビジネス成果に合わせた最適な教師データを活用し、ソリューションとしての効果を最大限に発揮します。

< L-Vision 開発・導入のご相談について >

L-Vision の開発・導入のご相談は、当社 HP のお問い合わせフォームからご連絡をお願いいたします。

<https://laboro.ai/contact/ai/>

なお、L-Vision については、当社 HP ページでもご覧いただけます。

<https://laboro.ai/solutions/l-vision/>

以 上

< 株式会社 Laboro.AI について >

株式会社 Laboro.AI は、オーダーメイドの AI ソリューション『カスタム AI』の開発・提供を事業とし、アカデミア（学術分野）で研究される先端の AI・機械学習技術をビジネスへとつなぎ届け、すべての産業の新たな姿をつくることをミッションに掲げています。業界に隔たりなく、様々な企業のコアビジネスの改革を支援しており、その専門性から支持を得る国内有数の AI スペシャリスト集団です。

< 会社概要 >



社 名：株式会社 Laboro.AI（ラボロ エーアイ）
事 業：機械学習を活用したオーダーメイド AI 開発、
およびその導入のためのコンサルティング
所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座 8 丁目 11-1
GINZA GS BLD.2 3F
代表者：代表取締役 CEO 椎橋徹夫
代表取締役 CTO 藤原弘将
設 立：2016 年 4 月 1 日
U R L：<https://laboro.ai/>

< 本リリースに関するお問い合わせ >

株式会社 Laboro.AI マーケティングディレクター 和田 崇
Mail : press@laboro.ai Tel : 03-6280-6564（代表）